

HCD Best Practice Award 2017

HCDベストプラクティスアワード

優れたHCD活動を講えることで、
HCDの実践を進め、モノ・コトづくり
への浸透を促す

今年度も、「HCDベストプラクティス
アワード」の申請を募集いたします。

一次審査は書類審査とし、二次審査は審
査員が集合して討議の上合議します。

※今年度に申請していただく事例は2016年1月1
日～12月31日に活動の全てまたは一部が実施
されていれば対象となります。

※事前にクライアント等からの開示許諾を得てい
ただくようお願いします。

スケジュール

エントリー締切	2016年 12/31 (土)
申請書の提出期日	2017年 2/28 (火) 17:00 必着
申請の方法	申請をする旨とご担当者名・所属・メール アドレスをHCD-Net事務局にメールにて お申込みください。 secretariat@hcdnet.org
自薦/他薦OK	※他薦は専門家の方に限ります。 ※他薦の場合は「推薦書」があります。
一次審査開始	2017年 3/6 (月)
二次審査の実施日	2017年 4/15 (土)
最終審査日	2017年 5月中旬

※二次審査を通過した事例(HCDグッドプラク
ティス)については直ちに公表いたします。

※二次審査を通過した事例(HCDグッドプラク
ティス)は全件、最終審査と授賞式場でプレゼ
ンテーションをしていただきます。



<http://www.hcdnet.org/>

HCDベストプラクティスアワード2016 受賞事例

2016年のHCDベストプラクティスアワードでは、2点の最優秀賞が選定されました!



シスメックス株式会社

水本 徹 ・ 有吉 俊輔

検体検査機器開発における 人間中心設計プロセスの導入事例

受賞理由

利用者である作業従事者を高い精度で理解して
おり、ユーザー視点でさまざまな工夫を生み出し
ていました。今後ますます重要となる医療分野
においてもHCDが有効であることを証明しまし
た。



株式会社Remy

和田 率

HCDプロセスを導入した調理器具 “Remy pan + (レミパンプラス)”の開発

受賞理由

料理体験をユーザー視点で観察し、その結果を基
にさまざまな工夫を生み出していました。料理の過
程をユーザー視点で撮影し把握するなど、HCDの
プラクティスとして優れたものであると同時に、
ビジネスの業績面でも成果が出ている点も評価
されました。



技術者とUXデザイナーが共創して進める NECのHCD手法とプロセスガイドの開発

日本電気株式会社 事業イノベーション戦略本部 デザインセンター
藤山 亨・岩田 直子・河野 泉・安 浩子

受賞理由

大企業における技術部門とUXデザインセクシ
ョン間の協働の成功事例として一つの代表的な
ものであり、これをプロセスガイドという分かり
やすい方法で実践したことが評価されました。



“あいうえお”の当たり前をUXにも

～「AIUEUX」の制作を通じた富士通のUX啓発プロモーション活動～

富士通株式会社 岡田 一志・津田 向志
富士通デザイン株式会社 横田 洋輔
株式会社富士通鹿児島インフォネット 小川 似維菜

受賞理由

UXメンバーを核として多様な人材を巻き込み、
UXの普及・啓発を計る活動として効果を上げま
した。大企業であるにもかかわらず社内に広く展
開しようとする努力や情熱が評価されました。



HCDプロセスを導入した調理器具 “Remy pan + (レミパンプラス)”の開発

事業主体者：和田率（株式会社 Remy） 推薦者：齋藤祐太（株式会社U'eyes Design）

目指したのは、 “ユーザー視点の調理器具開発”

新型レミパン「Remy pan + (レミパンプラス)」が搭載したのは、“キッチンツールを保持する世界初のフライパン・ハンドル”。ユーザー視点を取り入れるため、開発にHCDプロセスを導入し入念な調査の末に導き出されたこの機能。ユーザーの潜在的なニーズに応え、かつてない手法により、調理中のストレスを軽減させることに成功しました。



利用状況の 理解と特定

調理現場の観察・インタビュー

- 主婦や飲食店の調理現場を観察。
- 調理準備、調理中、調理後の片付けといった、調理コンテキスト全体から、ツールの使われ方の実態を把握。視点カメラでその動作を分析。
- 観察の結果、複数の調理を同時に行いながら、ツールを何度も「一時置き」する様子が見られ、インタビューからも、「ツールの置き場」に関する要望を多く確認。

要求に対する 設計の評価

主婦によるユーザー検証評価

- プロトタイプを使って主婦8名による検証評価を実施。
- 炒める・煮るといった、複合的な調理過程が観察できる「カレー」の調理をタスクに、サブタスクとして、同時に「目玉焼き」も調理。
- 従来のレミパンとの比較した結果、Remy pan+の優位性を確認。

「HCDベストプラクティスアワード」ロゴマーク使用規定

人間中心設計推進機構 アワード表彰委員会

(目的)

第1条 この規定は、人間中心設計推進機構(以下、「HCD-Net」という)が主催する「HCDベストプラクティスアワード賞」において表彰された製品又はサービスの供給者、またはそれを支援する活動の従事者が、その製品やサービスや支援活動の広報や宣伝等を目的にロゴマークを使用する際の留意事項等について定める。

(ロゴマークを使用できる者等)

第2条 ロゴマークを使用できる者は、「HCDベストプラクティスアワード賞」において、受賞した製品やサービスや支援活動の従事者と、当事者が二次使用を認めた者に限られる。

2 ロゴマークが使用できるのは、表彰を受けた製品やサービスや支援活動に関する広報や宣伝等に利用する場合に限られる。

3 ロゴマークの使用開始は、受賞した年のHCDベストプラクティスアワードの結果発表以降とする。なお、受賞した年以降もロゴマークの使用を認めるものとする。

(使用ロゴマーク等)

第3条 HCD-Netが使用を認めるロゴマークは別紙の通りとする。

(別紙のロゴマークは、2015年度表彰用を例示したものである)

2 前項のロゴマークを使用する際には、次の各号の条件を満たすものとする。

(1) 大きさについては、ロゴマークを内包する長方形の天地部分の長さが原則1.5センチメートル以上とし、適宜サイズの変更は認める。

(2) 色彩については、オレンジ色(DIC638aまたはPANTONE 716C [solid coated] 相当)またはスミとする。

(3) 掲示するコンテンツに応じて、HCDロゴとアワードのロゴを横に並べたもの、あるいは縦に並べたものいずれかを使用することとし、形状の改変は認めない。

(ロゴマーク使用に関するデータの請求および報告)

第4条 ロゴマークの使用を希望する場合は、HCD-Net事務局に対し、所定の申請書をもってロゴデータを請求し、使用方法を報告することとする。

(使用違反に対する対応)

第5条 ロゴマークを故意に改ざんしたり、使用条件に違背してロゴマークを使用したりした場合、あるいは利用できる者以外の者がロゴマークを使用した場合等には、HCD-Netはただちにその使用停止を求めるとともに、必要に応じて法的措置をとることがある。

(附則)

この規定は、2015年12月1日から適用する。



特定非営利活動法人(NPO法人) 人間中心設計推進機構 (HCD-Net) 事務局